

平成24年 第8回

江戸川区教育委員会定例会会議録

日 時：平成24年4月24日（火）午後3時30分

場 所：教育委員会室

委員長	吉野弘保
委員長職務代理者	松原秀成
委員	早川大府
委員	土田アイ子
委員（教育長）	浅野潤一

事務局	教育推進課長	土屋典昭
	学務課長	住田雅一
	指導室長兼教育研究所長	建部豊
	学校施設担当課長	永井博史
	統括指導主事	浜田真二

書記	教育委員会事務局	
	教育推進課庶務係長	丸山継典
	同 主査	岩生裕治

	開 会 時 刻 午後3時30分
吉野委員長	<p>ただいまから、平成24年第8回教育委員会定例会を開催いたします。今日は傍聴の申し出はありません。</p> <p>日程第1、署名委員を決定します。本日は早川委員と浅野委員にお願いいたします。</p> <p>日程第2、議題にまいります。継続となっております平成23年陳情第3号を議題といたします。何かございますか。</p>
土田委員	<p>今年学校に入った新1年生を持つ保護者の方たちから、江戸川区の給食は大丈夫ですかという声を聞きます。</p> <p>その際には万全な体制でやっていると申し上げてはいるのですが、再度、担当課からそのあたりのお話を聞きたいのですが。</p>
松原委員	<p>関連して、先日の新聞に、農水省が各事業所やスーパーなどに対して、国の基準以上の厳しい基準を設けるのをやめてほしい旨を求めたという記事がありました。</p> <p>江戸川区の給食で使っているいろいろな業者が用いている基準については、国の基準と理解しているのですね。</p>
住田学務課長	<p>学校給食の対応については、前回の教育委員会でもご説明したとおり、納入業者と連携を密にして、出荷制限地域の情報も確認しながら、安全な食材の納入を心がけてほしいという旨を4月に入ってから学校に通知したところです。</p> <p>また、基準については国の基準を満たしたものを仕入れるという形をとっております。</p>
早川委員	これから日光などでの宿泊行事も始まります。現地の情報はチェックしておいてほしいと思います。
委員長	他にはありますか。
学務課長	東京都の動きについて説明いたします。都では文科省の補助金を使って放射線の測定機を7台購入し、それを都内2か所に配置して、学校給食の食材について前日に持ちこんで測定するという事業を始めます。

委員 長	<p>各区に対して、その事業に参加するかという打診がありましたが、例えば野菜について幾つかの業者に問い合わせたところ、当日の朝に市場で仕入れたものを学校に納品しているということで、前日の持ちこみは実態に合わないという話がありました。</p> <p>今回は1学期の期間について参加するかどうかという打診でしたが、そういうこともあり、見合わせるという回答をしているところです。</p>
学 務 課 長	<p>参加しようというところもありますか。</p> <p>何区かで検討しているようです。</p> <p>ただ、都が購入した器械は、保健所に消費者庁から貸与された器械とほぼ同じ性能のものです。そういう意味では、今、江戸川区でも保健所が区内に流通している食品の検査をしていますので、その状況を見ながら安全な食材の購入を図っていきたいと考えています。</p>
土 田 委 員	<p>業者さんは朝早く仕入れて、新鮮なものを納品してくれています。東京都で前日に測るというのは、どうかなという感想です。</p>
早 川 委 員	<p>これは、事務局、教育長の判断で、参加するかどうかを決めてもらえばいいのではないのでしょうか。どうしても必要ならば2学期からでも構わないですし。</p>
松 原 委 員	<p>私も同じ意見です。学校は青果店などと、新鮮なものを購入するというところで契約してやっていますから。</p>
委 員 長	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、この件に関しましては、今回も継続ということでよろしいでしょうか。</p> <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>
委 員 長	<p>それでは、平成23年陳情第3号は継続といたします。</p> <p>次に、日程第3、教育関係事務報告にまいります。はじめに、報告第21号について事務局よりお願いいたします。</p>

土屋 教育推進課長	<p>報告第21号は江戸川区指定無形文化財の指定解除についてです。登録無形文化財第10号の工芸技術「ゆかた染（長板中形）」の保持者の死亡届が出されましたので、指定を解除することになります。</p> <p>今後、文化財保護審議会に報告したうえで告示という手続となります。以上報告とさせていただきます。</p>
委 員 長	この件について何か質問等ございますか。
早 川 委 員	人は亡くなくても、作品を区として残す努力というのは必要な気がします。
教育推進課長	この方の作品を保管してあるか、今、手元ではわからないのですが、実際にこういった工芸品などは区が購入するなどして保管しております。
委 員 長	亡くなった方の技術の伝承という面はどうですか。
教育推進課長	弟さんや息子さん、奥様もいらっしゃいまして、一族でこの技術を使って脈々と浴衣を作り続けておられます。
土 田 委 員	<p>シーズンになると、伝統的な浴衣としてテレビで取り上げられているのを何回か見たことがあるのですが、伝承してくださる方がいるというのは区としてもいいことですね。</p> <p>それから、そういう良いものを収蔵庫にずっとしまっておくのではなくて、それを見られる機会があるといいなと思うのですけど。</p>
教育推進課長	郷土資料室で企画展示などをやっております。ここ数年間で購入したものもありますので、そういうものをお披露目する機会も検討したいと思います。
委 員 長	それでは、この件についてはよろしいでしょうか。他になれば、次に報告第22号をお願いします。
教育推進課長	<p>報告第22号は、今お話をさせていただきました、松原染織工房主催の第18回伝統工芸藍形染展への教育委員会後援名義使用の承認についてです。後援も18回目ということとなります。</p> <p>主催者は天然藍を使用した形染の普及・伝承に努めておりまして、本展示会は技術及び作品を公開し、多くの区民に伝統工芸に対する理解を深めても</p>

	<p>らうことを目的としております。</p> <p>申請者はお亡くなりになっておりますが、先ほど申し上げたとおり、弟さんが引き継いでおります。</p>
委員 長	<p>この件について何か質問等がございますか。</p> <p>特にないようですので、報告第22号を了承することといたします。</p> <p>次に報告第23号についてお願いします。</p>
教育推進課長	<p>報告第23号は、この春の地域行事への参加・協力校を一覧表にまとめましたので情報提供させていただきます。それぞれ実行委員会などから招請され、パレードや清掃活動などに参加いたします。これ以外にもすすくスクールとして参加するものなどもございます。以上です。</p>
松 原 委 員	<p>これだけの子どもたちが地域に出ているのだということを、ぜひ区民に知ってほしいなと思いますね。この地域行事以外にも、例えば少年野球の開会式など、いろいろ出ています。本当にいいことだと思っています。</p>
早 川 委 員	<p>これは春季ですけども、秋もたくさんあるのでしょうか。そちらも今度教えてください。1年間どこにも参加していないという学校があったら、積極的にやってほしいという話もできますし。</p>
教育推進課長	<p>例えば小岩は東西南北の地区があるのですが、地域まつりがある場合、その地域に属する学校は全て出ております。ただ、南小岩地区は地域まつりがないため、その地区の学校は地域でお披露目する機会がないという事情もあります。</p> <p>他の地域でもそういうところがあるかもしれませんので、必ずしも全校の名前が出てくるということではありません。ただ、学校のほうが断って出ないということはないと思います。</p>
早 川 委 員	<p>地域防災でのつながりもあるし、特に中学校には出来る限り出ていってほしいと思いますね。</p>
委 員 長	<p>他になければ、次に報告第24号 読書推進活動の広報紙掲載についてお願いします。</p>

教育推進課長	<p>今年度、読書科がスタートしましたが、区全体で読書好きの子どもを育てるという気運を盛り上げたいということで、読書科の実施、学校図書室の蔵書充実、環境整備、ボランティアの研修、僕の私のお勧めの本の紹介、読書週間ポスターの作成といった、今年度教育委員会が進めようとしていることを紹介するページを広報えどがわ5月10日号に掲載する予定で、現在編集を進めているところです。</p>
委員 長	<p>何かご質問はありますか。</p>
早川委員	<p>学校で読書科をきちんと進めてくれているのか、1年通じてチェックして行ってほしいです。それから、その効果がすぐ出るかはわかりませんが、事業評価をして公表できるように検証をしてほしいと思います。</p>
教育推進課長	<p>補足がありまして、読書科の授業ではポップづくりなどもやりますので、その成果物を実際の書店でも活用してほしいということ、東京都書店組合の江戸川支部長にお願いしましたら、快く引き受けていただきました。また、区内の書店店頭で読書週間のポスターを貼らせていただいております。</p>
指導室長	<p>学校での実施については、全小・中の校長の自己申告に、読書科の推進という項目を入れておりまして、これを6月以降に私どもがヒアリングさせていただき、進捗状況を見て、また業績評価等にも反映していく仕組みになっています。</p>
早川委員	<p>読書の日があつて、おじいちゃん、おばあちゃんが孫に図書券を贈るとか、そういうふうになるといいですね。</p>
土田委員	<p>地元の保護者の方から聞いた話ですが、子どもが学校から帰ってきて、「お母さん、今日は何の日だか知っているか」と尋ねてきたそうです。そして、4月23日は子ども読書の日だと、ユネスコが決めた世界の本の日だと学校で教わったと話してくれたそうです。</p> <p>さらに、いい本にめぐり会うのはすごく大事なことで、スタジオジブリの宮崎駿さんも子どものときにいい本にめぐり合っていて、今こういう仕事についているという話や、今年の読書週間の標語が「君と未来をつなぐ本」だという話を先生がしてくれたということも聞いたそうです。</p> <p>子どもが学校で習ったことを保護者に話すということは、本当にいい傾向</p>

	<p>だと思えます。これは、読書科が楽しみだなど、大成功するのではないかなと思えたので、一応報告させていただきました。</p>
早川委員	<p>そうすると、この広報は4月23日に向けて出すほうが良かったのでは。</p>
教育推進課長	<p>こどもの読書週間というのが4月23日から5月12日までとなっております、その時期にポスターを貼って啓発しております。</p>
松原委員	<p>ポスターは、学校現場にも貼ってありますよね。でもそれを扱ったその先生は大したものですね。</p>
委員長	<p>他になければ、次に報告第25号の学校公開と小学校受け入れ予定数についてお願いします。</p>
学務課長	<p>毎年、広報えどがわの5月1日号に学校公開の日程と、小学校の区域外からの受け入れ予定数について掲載しております。前回の教育委員会で学校選択制の改善について報告させていただきましたが、改善の上、当面は継続しますということ今年をあわせて掲載いたします。紙面に限りがありますので、詳しくはホームページにという案内にしたいと考えています。</p>
委員長	<p>あちらこちらで、選択制がなくなるそうですねという保護者の声を聞くのですが、どういういきさつでそういう話が出てくるのでしょうかね。</p>
学務課長	<p>平成22年度に、小学校1年生と中学校1年生、さらに学校、地域の関係者に大規模なアンケートを実施しましたが、そういうアンケートを行うということは、行く行くは制度がなくなるのではないかという先入観を与えたようです。アンケートの後、電話や区長への手紙などで、選択制をなくさないでほしいという意見がいろいろ寄せられました。今もそれが少し残っているというところはあると思えます。</p>
早川委員	<p>今回の広報には中学校の受け入れ数は載らないのですね。</p>
学務課長	<p>中学校は、選択の希望をとる時期が小学校よりも遅いものですから、例年夏以降に広報しています。</p>

委員 長	他にはよろしいでしょうか。次の報告にまいります。報告第26号、栄養士業務民託校巡回状況についてお願いいたします。
学務課 長	<p>今年度から13校で栄養士業務の民間委託が開始されましたが、4月10日以降、先週までにこの13校を巡回し、教育委員会の栄養士が給食室の中に入って現場を確認したり、あるいは栄養士や校長、副校長から状況を聞き取ってまいりました。</p> <p>私もこのうち校長が異動した4校に出向きまして、新しい校長と話をし、実際に給食も食べて状況を確認してきたところです。</p> <p>巡回の中で特に問題点はなかったのですが、継続的に確認をしていきたいと考えております。</p>
委員 長	調理業者を変更した学校もありましたね。
学務課 長	鹿本中学校は栄養士業務の委託校ではないのですがけれども、調理業務の委託業者を変更したということで、こちらについても現場に出向いて確認をしております。
委員 長	他にはいいですね。それでは、報告第27号 平成24年度「日本のしらべ」日程についてお願いします。
指導室 長	資料のとおり、今年度の「日本のしらべ」の日程がまとまりました。5月1日の小岩第一中学校を皮切りに今年度も11校で実施いたします。後ほど、ご参加いただく日の調整をさせていただきたいと思っております。
委員 長	次に報告第28号 いじめ電話相談事例についてお願いします。
建部 教育研究所長	<p>前回、早川委員から、いじめ電話相談の具体的な事例を報告してもらいたいというお話をいただきましたので、今回3例を用意させていただきました。個人情報には触れずポイントだけ申し上げますと、事例1は、中学生の母親からの連絡です。文房具を投げつけられるなど友達から暴力を受けて、先生も介入をしているけれども頼りなく、対応しきれていないので、どうしたらいいのかという相談でした。最初は何を求めていらっしゃるのかが見えづらかったのですが、聞き取る中で、一度子どもを相談に連れて行きたいので、子供の心のケアをしてほしいということが主訴だということがわかりまし</p>

た。いじめは防がなければならないので、指導室から学校へ情報提供をすると同時に、このお母さんと子どもの来室相談につなげたというケースになります。

事例2は小学校高学年の女子児童の母親からです。この事例の場合は、かつてはいじめっ子だったのが、いじめられる側になってきたということで学校に相談したところ、教師から「お互い様」と言われたとのことで、いじめよりも、学校に対する苦情に近いものです。いじめ相談の中には、いじめの解決というよりも、学校の対応が悪いという訴えが往々にして見られます。その典型的な例だといえます。ただ、実際に学校に確認したところ、相当話を聞きながらなかなか解決しない中で、言葉尻だけをとらえられたという面もあります。

なお、このケースも指導室への連絡を保護者が希望されましたので、指導室に連絡をし、学校に情報を伝えております。学校では担任だけで対応しているケースも多いので、きちんと校長に連絡をして、校長の指導のもとに対応を図っています。

最後の事例3は、教育相談カードを見て小学校高学年の女子児童本人が相談してきたケースです。

これも担任の先生にいろいろ言ってもなかなか解決してくれないという不満もありますが、教育委員会や学校に連絡することはできると伝えたところ、少し様子を見たいという話になっております。

以上、典型的な例を示しましたがけれども、相談の多くは母親が心配をして、このまま放置をしておくこと最悪のことも考えられるので、早目に手を打ちたいということでかけてくるケースです。この場合、子どもの思いと母親の思いにずれがあり、実は子どもは教育相談に行きたがっていなかったりして、時間がかかることも多いということです。一方、子ども自身がかけてくるケースは、相談員によりますと、自分で自分の状況を認識できているので、アドバイスも受け入れやすく、解決が早いそうです。以上でございます。

早川委員

三つの事例の共通している問題点は、担任の先生が対応しきれていないということ。校長や指導室にも連絡がないということですね。

重要なのはこういういじめのようなケースに対する担任の先生の指導力をどうつけるかと、そして、校長先生なり同僚、指導室がどう関われるかということだと思えます。

担任が自分で抱え込まず、解決するためにアドバイスを受けられるようなかたちがとれば、いろいろな悲劇が防げるのではないかなという感想です。

松原委員	<p>この事例のように相談者が学校への連絡を不可としてしまうと、現場でわからない間に厳しい状況になってしまう可能性もありますよね。</p> <p>担任の指導が頼りないというのが本当かどうかはわかりませんが、一人で対応するのではなくて、カウンセラーもいることですし、学校として取り組める方向にできないか、研究したいですね。</p>
教育研究所長	<p>実は、電話を受けて学校名が特定されれば、保護者がここでとめてほしいという場合でも、校長どまりということで情報提供するようにしています。</p> <p>この場合、校長が内部で報告を受けていて、既に学校として対応はしているけれども保護者が納得していないというケースと、校長は初めて聞いたということで、担任でとまっていたというケースが五分五分ぐらいです。</p> <p>担任でとまっている場合には、一人で抱え込んでいるというより、大したことはないという認識で、保護者や子どもとのずれが起きていることもあり得るので、校長どまりとして、状況を見てほしいという連絡をしております。</p>
松原委員	<p>ありがとうございます。</p>
早川委員	<p>相談時間がそれぞれ25分、15分、15分とありますが、平均的な範囲なのでしょうか。</p>
教育研究所長	<p>同じ話の繰り返しになったり、電話はかけたけれども何を言っているかわからないという子どもや保護者には、まず自分の言いたいこと、訴えたいことを整理させるのに10分から15分ほどかかる場合もあるということで、そういう場合は40分ぐらいかかっているケースもあるようです。</p> <p>この3例については、1番目の例は、はじめ主訴が明確でなかったのですが、あとは明確だったということでこの時間となっています。</p> <p>主訴を整理することが教育相談ではすごく大事で、そこが明確になって解決への共通理解が始まると相談員から報告を受けております。</p>
早川委員	<p>外来の内科の患者でも、この人は何で来たのかなというところから、聞き出すまでに時間がかかるという例があって、それに似ているなという印象です。最初から整理されている人と、整理されていない人がいるのですが、手がしびれるとか、頭が痛いとか、胸がドキドキするとか、そういうのを不定愁訴というのですが、そういうことを聞いているうちにだんだん理解が深</p>

	<p>まっていくんです。</p> <p>もう一ついうと、余り大した問題ではなくても、抱え込まずに話を大きくして解決するという方法のほうがいいのではないかなと思っています。大きく騒いでも結果として誰も傷つかなかったら、それでいいわけですから。</p> <p>そういう意味で、所長の説明にあった、校長に情報提供するというやり方は正しいと思いますね。</p>
土 田 委 員	<p>先ほど、二葛西小と船堀小の仮設校舎をお邪魔したときに、それぞれ子どもたちが副校長先生や校長先生にしがみつくとように、どうして今日はこういう人たちが来ているのと尋ねていました。</p> <p>それに対して校長先生が丁寧に、教育委員の人たちが、教育委員がどういう人なのかという問いにも答えながら、仮設の校舎で困っていることはないか、みんな安心して勉強できているかを見に来ているのだという説明をすると、それを聞いた子どもたちがすっきりした様子で帰っていきました。その姿を見て、話を聞いてもらうということはとても大事だと思いましたし、一人一人の話、思いを聞いてあげるといことは大変なエネルギーを使うのだということも感じました。</p> <p>電話相談は主題だけではなく、その前段から時間をかけてお話を聞いてくださっているようですが、相談者は自分の思いを信頼できる場所に聞いてもらいたい、そういう場所を探しているのしょうから、本当に重要なところだと思いますし、これからもきめ細かく対応していただきたいと思います。</p>
委 員 長	<p>よろしく願いいたします。その他に何かありますか。</p>
早 川 委 員	<p>今後、事務局に報告を求めたい事項がございます。</p> <p>一つは6月までに実施する児童・生徒の健康診断の結果、どういう事例があったか、もう一つは体力測定为学校ごとの結果についてです。</p> <p>健康診断については受診率も含めてですね。</p> <p>そして、昨年との違いの分析ができればいいと思いますし、それを各校にフィードバックし、今年はこの傾向でしたと学校医にも示せるといい。</p> <p>それからもう一つ、これまでもインディアンスクールなどを視察しましたが、先日、専門の先生に特別支援教育についての説明を受けたこともありますし、私たち自身も見識を深めるというか、そういう視察の機会を設けてもらいたいと思っています。</p>

委員 長	<p>よろしいでしょうか。それでは教育関係事務報告はこれで終わります。続いて、日程第4としまして、その他について事務局よりお願いします。</p>
教育推進課長	<p>平成18年度から毎年夏休み中に実施している、教育委員と教職員との意見交換会についてなのですが、例年、あらかじめ設定したテーマに沿って発表していただいていますので、内容が形式的になってしまう傾向もあります。</p> <p>もっと率直な意見を聞きたいというお話も非公式ながら伺っておりまして、例えばテーマを決めずにフリートalking形式にするだとか、参加者をこれまでのような校長、副校長、主幹教諭クラスではなく、新任教諭や教務主任、生活指導主任から人選するとか、そういったことも視野に入れながら見直しを行ってはどうかという、事務局からのお伺いがございます。ご意見をよろしくお願いします。</p>
委員 長	<p>少し違ったやり方でもいいのではないかという提案ですが。</p>
早川委員	<p>これまで、読書や学校応援団、若手教員の育成といった、その時にあったテーマを選んでいただいていたように思います。</p> <p>私としては、現場の担任の先生が、指導力とか教育力というものを身につけるにはどうすればいいかということをつつも考えているのですが、その辺の悩みなんか聞いてみたい気がします。</p> <p>参考に、医師が診療に対する力をつけるのには、7割から8割は先輩の助言で残りは自分の勉強です。我々が一番役に立ったのは、夜の当直などのときに先輩たちが話してくれた失敗談なんですね。それがすごく肥やしになっています。今は時代が変わり、そういう機会が減っているような気がします。</p>
松原委員	<p>「授業の達人」の先生の話などを参考にすればどうかなとも思いますね。</p> <p>例えば教育委員と事務局の方がペアになって分科会のような形で分かれて、忌憚のない意見を出していただいたものを発表するというスタイルもあるのではないかなと思います。</p>
委員 長	<p>去年は主幹の先生がとても活発に発言されて、校長先生の報告などとは違った角度の意見が出て、生の声が聞けたかなと思います。</p> <p>先生にそれだけの実力があつたからだったのかもしれないですけども、とてもよくて印象に残りました。</p>

教育推進課長	まだ時間はありますので、今後またご提案をいただき整理していければと思います。
委員 長	他にはいかがでしょうか。
土 田 委 員	各地で通学路での事件、事故が続いております。地域の皆さんが協力して子どもたちを見守ってくださっていますし、安全であると確信はしておりますけれども、もう一度確認をしていただきたいと思います。
早 川 委 員	文部科学大臣が、通学路についても一回チェックをしてほしいと記者会見で言っていました。痛々しい犠牲があったわけですが、次を起こさないようにする責務が我々にはあります。そういう意味で、チェックする必要があると思います。
学 務 課 長	次の校長会で全校に対して通学路の安全確認について再度お願いし、メールも発信したいと思っています。
教育推進課長	保護者、PTAにも連合会を通じて、あらためて周知したいと思います。
早 川 委 員	学校評議員に対しても、この問題を深刻に受けとめていますと、再チェックをするので協力してくださいということを伝えたほうがいいですね。 システム全体を挙げて取り組んだほうがいいと思います。
委 員 長	他になければ、これで平成24年第8回教育委員会定例会を終了します。 閉 会 時 刻 午後4時48分